

みずほCustomer Desk Report 2021/04/30 号(As of 2021/04/29)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.51	1.2135	131.68	1.3957	0.7802
SYD-NY High	109.22	1.2150	132.35	1.3979	0.7818
SYD-NY Low	108.44	1.2103	131.63	1.3932	0.7751
NY 5:00 PM	108.92	1.2122	132.06	1.3946	0.7766
NY DOW	34,060.36	239.98	日本2年債	-	-
NASDAQ	14,082.55	31.51	日本10年債	-	-
S&P	4,211.47	28.29	米国2年債	0.1632	▲0.20bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.8660	1.44bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.6406	3.13bp
シカゴ日経先物	29,090.00	135.00	独10年債	-0.1935	3.90bp
ロンドンFT	6,961.48	▲ 2.19	英10年債	0.8415	4.50bp
DAX	15,154.20	▲ 137.98	豪10年債	1.6510	▲2.70bp
ハンセン指数	29,303.26	231.92	USDJPY 1M Vol	5.68	0.07%
上海総合	3,474.90	17.83	USDJPY 3M Vol	6.00	0.03%
NY金	1,768.30	▲ 5.60	USDJPY 6M Vol	6.30	0.02%
WTI	65.01	1.15	USDJPY 1M 25RR	-0.10	Yen Call Over
CRB指数	200.670	0.31	EURJPY 3M Vol	6.28	0.04%
ドルインデックス	90.61	0.00	EURJPY 6M Vol	6.63	0.00%

東京	アジア時間のドル円は108.51レベルでオープン。前日NY時間のFOMC後に急落していたドル円は、バイデン大統領の議会演説を横目に徐々にドル買戻しの動きが入り、東京休日の中でじり高。アジア時間午後には、米金利が上昇したことを背景に一段とドル買いの流れが強まり、上昇幅を広げる展開。そのまま108.74レベルと高値圏のまま海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.74レベルでオープンし、米長期金利を眺めて上昇。一時109.06まで上昇幅を拡大したが、利益確定と思われるドル売り・円買いがやや入り、すぐ108円台まで反落。108.98レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は108円台半ばでスタートし、前日のパウエルFRB議長のハド派なコメントを受けて強まったドル売りの流れが引き継がれ、一時108.44まで下落。しかし、東京市場が祝日で休場となっているほか、バイデン米大統領の施政方針演説で特段の材料が見当たらない中、更なる売りは限定的だった。欧州時間に入るとリスクオンードが強まり、米株先物や米金利の上昇につれてドル円は109.06をつける。早朝は小幅値戻し、108.98レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が予想を上回ったほか、米第1四半期GDPが予想を下回るも、特段リセッションの悪化は見られず、米長期金利が1.68%台まで上昇するを動きとともに109.22まで高値を更新。その後、米金利低下・米株上げ幅縮小を受けてドル買いが失速し、再び109円を割り込む。午後は米株の主要3指数が一時マイナス圏に沈んだことから安値108.81をつけるが、米株がすぐにプラス圏に回復しており、ドル円も下げ渋った。終盤にかけて次第に方向感に欠ける推移となり、結局、108.92レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.21台前半でスタートし、前日のドル売り引き継がれ、一時1.2150まで上昇。その後は利益確定の売りや米金利上昇を意識したドル買いに圧迫され、じりじりと1.2111まで反落し、1.2129レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなるも、ユーロ円の堅調推移やリスク志向のドル売りが見られる中、1.2103までの下落に留まった。その後、米金利が低下に転じたことから、買い戻し優勢となり、1.2130までじりじりと上昇。終盤は小幅反落し、1.2122レベルでクローズ。

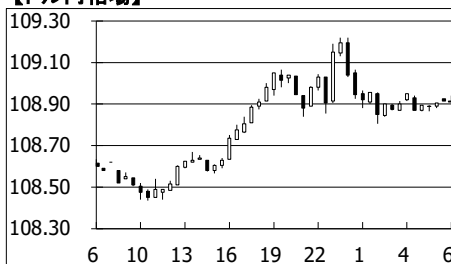
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月29日	03:00	米 FOMC政策金利	-	0%-0.25%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	4月	0.7%/2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	24-Apr	553k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q A	6.4%
	21:30	米 個人消費	1Q A	10.7%

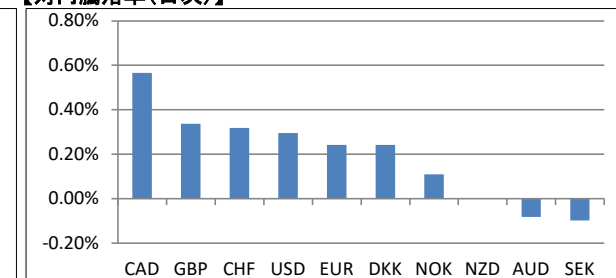
【本目の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
4月30日	08:30	日 失業率	3月	2.9%	2.9%
	10:00	中 非製造業/製造業 PMI	4月	56.1/51.8	56.3/51.9
	10:30	豪 PPI(前期比/前年比)	1Q	-	0.5%/-0.1%
	17:00	独 GDP(前期比)・速報	1Q P	-1.5%	0.3%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	4月	0.5%/1.6%	0.9%/1.3%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	1Q A	-0.8%/-2%	-0.7%/-4.9%
	21:30	米 個人所得/個人支出	3月	20.2%/4.1%	-7.1%/-1%
	22:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.80-109.80	1.2110-1.2130	131.90-132.90

【マーケット・インプレッション】

昨日円休日の中FOMC無難に通過となったが欧米債券市場は経済過熱懸念から売り優勢に金利は総じて上昇、コモディティーではGold軟調・原油市場は堅調推移。JPYは欧米金利上昇に108.60から109.00越えを回復な動きを見せ、EURは1.2115～25の狭いレンジ内の水準を保った。そこからニューヨーク時間に入り米国指標(米GDP速報値、インシャル・クリーム、中古住宅成約指数)と相場の目線を下回る数字が多かったが、個人消費は市場予想を上回り、その上NY州は経済回復(ワクチンの進み)への期待感も強く、米主要株は上昇。米債は経済過熱懸念に売られたが、月末需要もあってじりじりと下げ渋り、JPYは一時109.20越えまで売られたが米金利上昇一服に108.90へと買い戻された。今日の見通しは月末需要そして円休日前でポジション調整で揺らされる相場となるだろう。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル		11	10